

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

回答者6名

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|--|--|------|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100% | 0% | |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 100% | 0% | ・ 規程通り配置できている。 ・ 十分に配置できている。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 100% | 0% | ・ 活動に合わせて本読みや机上活動などを行う静の部屋と、感覚統合遊具などで身体を動かす動の部屋で分けている。 ・ 昨年度の増築工事にてバリアフリー化され環境は整っている。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 100% | 0% | ・ 日々忙しさに追われているが、常に心掛けている。 ・ 建物が新しくなったため、これまで以上に職員が清潔に保つよう心掛けている。 ・ 静と動の活動ごとに部屋を分け、まだうまく活用できていない部分もあるが、職員間で相談し、部屋の使い方を工夫している。 |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 83% | 17% | ・ 広く参画できているが、上手くサイクル化できないこともある。 ・ 日々の忙しさに追われているが、常に心掛けている。 ・ 全職員が参画できているかは微妙。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 100% | 0% | ・ 保護者の意向は常に心に留めている。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 100% | 0% | ・ 常にバージョンアップできるよう考え取り組んでいる。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 100% | 0% | |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 100% | 0% | ・ コロナ禍により外部研修は少なかったが、職場内研修を数回行った。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 100% | 0% | ・ 個別支援会議を定期的に行い、職員で分析を行っている。 ・ アセスメントをより深めて、子どもにとって負担のない計画を今後も作成していきたい。 |
| | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 100% | 0% | ・ 利用開始時には、乳幼児発達スケール等を使用し必ず発達段階を把握している。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 100% | 0% | ・ ガイドラインに沿った計画を立てている。 ・ 3つの項目をきちんと設け取り組んでいる。 |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 100% | 0% | ・ 1人ひとりの支援目標を日々掲示し、職員間で把握したうえで活動をしようとしている。 |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 100% | 0% | ・ 分野ごとに話し合いをしている。 |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 100% | 0% | ・ 月ごとに大枠の活動を決め、工夫している。 |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか | 100% | 0% | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 100% | 0% | ・ 分野ごとのミーティングにて活動内容の確認と役割の確認を行っている。 |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 100% | 0% | ・ ミーティングを毎日行い情報共有に努めている。 ・ 必ずミーティングで振り返りを行っている。 |
| 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | 0% | ・ 日々の記録をとりながら子どものできるようになったことや気になる様子等を職員間で周知している。 ・ 日々の記録に今後の支援について活動内容の確認と役割の確認を行っている。 | |

| | | | | | |
|--------------|---|---|------|-------------------------------|--|
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 100% | 0% | ・半年に1回行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100% | 0% | ・児発管又は担当職員が出席している。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 100% | 0% | ・町保健師、福祉課とは良好な関係であり、その他関係機関とも連携を図っている。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 83% | 17% | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 67% | 0% | ※無回答者2名 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 100% | 0% | ・保育所等訪問支援などの中で情報共有している。 ・ライフステージ移行の際は、切れ目のない支援を心がけ、情報提供書及び相談支援ファイルの作成を行っている。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 100% | 0% | ・保育所等訪問支援などの中で情報共有している。 ・ライフステージ移行の際は、切れ目のない支援を心がけ、情報提供書及び相談支援ファイルの作成を行っている。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 100% | 0% | ・発達障がい者支援センターイコールの支所であり、常に連携を図れる関係が保てている。助言等も必要に応じて受けている。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 17% | 67% | ・コロナ禍になり交流がなかなかできていない。 ・コロナ禍により、今年度は他園との交流ができていない。 ※無回答者1 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 50% | 33% | ※無回答者1名 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | 0% | ・ノートを通して様子をお伝えできるよう努めている。また、家庭での様子もお知らせ頂き共通理解を図っている。 ・日々の連絡帳、送迎時等にて話す機会を設けることに心掛けている。毎月、公式LINEより活動の様子を配信し、こちらでの様子をお届けしている。 |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 100% | 0% | ・年間2クルールのペアレント・プログラムに取り組んでいる。 | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 100% | 0% | ・契約時には担当者が個別に丁寧な説明をしている。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 100% | 0% | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100% | 0% | ・日々の連絡帳や送迎時に聞かれた悩みにはすぐに対応できるよう心掛けている。 ・計画に沿った2回の評価の際には、改めて家庭での様子など相談に応じている。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 67% | 33% | ・保護者同士の横のつながりをこちらで把握できないことが多い。 ・コロナの状況等もあり、保護者会の開催は難しかったがペアトレにて保護者さん同士の交流も図れるよう行った。 ・コロナ禍になって保護者会は開催できていないが、ペアレント・プログラム参加者は良い交流の場になっている。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 100% | 0% | ・相談があった際はすぐに対応している。当日に対応できない場合でも相談日をその日のうちに設定できるよう心掛け、少しでも安心感を持ってもらえるようにしている。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 100% | 0% | ・LINEでお知らせできている(月1回程度) ・行事予定等は毎月作成し、公式LINEより発信している。併せて活動の様子も1~2回配信している。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 100% | 0% | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100% | 0% | ・保護者対応では口頭のみで行わず、メモやLINEを活用している。子どもに対しても適宜視覚提示を行ったり、行動の切り替えのきっかけになる音楽を流している。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 67% | 0% | 今年度は建物の増改築工事を行ったため、保護者だけに留まらず関係機関や知人等も内覧して頂けるよう随時対応している。 ※無回答者2名 |

| | | | | | |
|---------|----|---|------|----|-------------------------|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 100% | 0% | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 100% | 0% | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 100% | 0% | ・必要に応じて聞き取りを行い、確認をしている。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 100% | 0% | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 100% | 0% | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100% | 0% | ・定期的に職員研修を行っている。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 100% | 0% | |